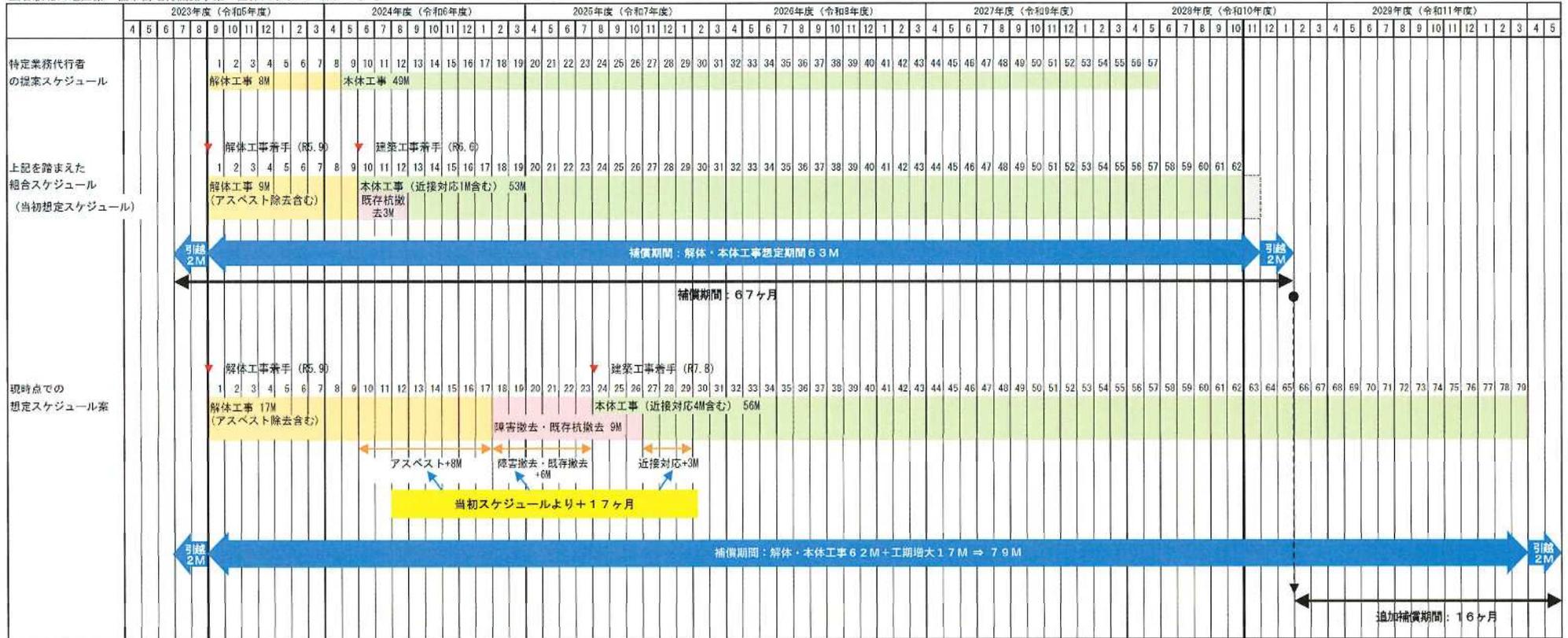


140 立石駅北口市街地再開発事業における工期が1年5か月延伸することによる権利者向けの説明資料全て

231224 説明会資料

立石駅北口地区第一種市街地再開発事業 全体スケジュールについて



工期増大 (17ヶ月) 理由

- ① 再開発組合にてアスベスト調査した結果、解体建物106棟中96棟の建物にアスベストが含まれることが判明した。養生等行いながら順次アスベスト除去、建物解体を行うため、解体工期が当初想定より約8ヶ月増大することとなった。
- ② 当初、建物規模等から基礎杭の形状等を想定し、本体工事着手後3ヶ月程度並行して杭撤去を行う計画としていたが、権利者から図面を入手し精査した結果、杭を見込んでいた建物について想定以上に杭径・杭長があることが判明したことから、工期が約6ヶ月増大することとなった。
- ③ 連続立体交差事業との近接施工により、具体的な施工を含めて京成電鉄と協議した結果、線路に影響が及ばないよう山留の鋼材が想定より増大し、かつ山留が倒れないよう地盤改良する必要が発生したため、工期が当初想定より約3ヶ月増大した。

アスベスト調査結果図



建物棟数	106棟
アスベスト使用物件数	96棟

	レベル1 (吹付けアスベスト) 7棟		レベル2 (配管保温材) 2棟
	レベル3 (外装・内装吹付けアスベスト) 31棟		レベル3 (塗材、ケイカル1種など) 96棟

※重複物件があります

建物解体進捗図（～2023年 年内進捗予定）



- | | | | | | | | |
|---|----------|---|-------------|---|------------|---|---------------------|
|  | : 内装解体完了 |  | : アスベスト撤去中 |  | : 建物解体中 |  | : 交番（2024年4月中旬移設予定） |
|  | : 内装解体中 |  | : アスベスト撤去完了 |  | : 建物上屋解体完了 | | |